

平成22年3月4日

中教審教育課程部会
学習評価ワーキンググループ 様

全国連合小学校長会長
向山行雄

「審議の中間まとめ」についての意見

本「中間まとめ」では、私どもの趣旨が的確に反映されており、特に改善をお願いしたい箇所は見当たりませんでした。

「中間まとめ」に盛り込まれた方向性の中で、今後特にご尽力いただきたい点について、以下のように要望します。

記

- 1 国においても分かりやすい学習評価の資料を作成していただきたい
新たな学習評価の導入に当たっては、それぞれの観点にふさわしい評価規準や具体的な評価方法を示すとともに、参考となる評価活動の事例を掲載するなど、教員にとって使いやすく、分かりやすい資料の作成をお願いしたい。
- 2 学習評価の妥当性、信頼性を高める研究・研修を進めていただきたい
特に今回整理された「思考・判断・表現」や多くの教員が困難を感じている「関心・意欲・態度」については、国や大学の研究機関等において研究開発を進め、より効果的な評価活動の在り方を普及する研修の場を提供していただきたい。
- 3 新たな学習評価についての保護者等への十分な説明をしていただきたい
保護者等に対し、今回の学習評価の改善について、改正教育基本法や学校教育法、学習指導要領等の趣旨との関連を明確にした十分な説明を行っていただきたい。